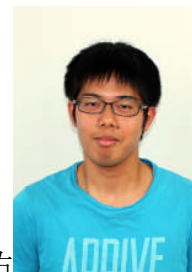


## 和歌山病院での実習を終えて



山田 晃佑

今回は呼吸器内科のポリクリ実習の一環として、御坊にある和歌山病院で二日間にわたって実習をさせていただきました。まずは南方先生をはじめとする今回レクチャーしていただいた多くの先生に対して、忙しい中時間を割いていただきありがとうございました。

まず、駿田先生の結核のセミナーについてですが、大学の講義では空気感染することやどのように対策するかを学びましたが、実際に N95 マスクをつけたのは初めてで、結核病棟に入ったこともなかったので、貴重な体験をさせていただきました。

次に、南方先生のセミナーに関してです。私はセミナーを受ける前は胸部レントゲンの読影に苦手意識を持っており、どこに注目すればいいかあまり理解できていませんでした。しかし南方先生のセミナーを受けたことで胸部レントゲンでは注目すべき点が限られていることがわかりました。また話を聞くだけでなく自分で考えることでより知識を整理することができました。特にシルエットサインは自分ではなんとなく理解しているつもりでしたが、先生の話聞いてどういう場合に陽性になるかがわかりました。また体を使って気管支の分岐を覚えるのも頭に定着しやすくてよかったです。実際に大学に戻ってから気管支鏡を見学したときに気管支の分岐がよくわかるようになっていて驚きました。

また、川邊先生のセミナーでは診断から検査、治療という流れをどのように進めていくかを実際の模擬患者さんを相手に練習させていただきました。問診の際にどういうことをさらに聞いておかなければいけなかったかを教えていただいたので、次からはその点に注意して問診を行っていこうと思います。

最後に繰り返しになりますが、和歌山病院の先生、スタッフの方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。